

朝中高サマースクールオンラインのアンケートで寄せられた質問に
講師のひきたよしあき先生にお答えいただきました。

■書くことについて

Q:どうしたら、伝えたいことを簡潔にまとめて書けるようになりますか？

作文がへたな人は、すぐに原稿用紙に書きはじめます。うまい人は白い紙に、何を書くか、何が重要か、どういう順番で書こうか、引用したい言葉などを、思いつくまま書き出して構成を考えてから書きはじめます。簡潔な文章、伝えたいことがわかる文章など、すぐには書けません。必ず下書きをするようにしましょう。これが作文上達の近道です。

Q:作文で同じことを述べてしまうことがあるので、どのように工夫したらよいですか？

書いたらすぐに音読すること。すると同じことを書いているのがすぐにわかります。

Q:人を魅了するような作文の書き方について教えてください。

誰かにむけて、ラブレターを書くような気持ちで書いてみてください。

Q:文を書くときに様々な言葉を使用したいです。どうすれば良いですか？

「類語」を調べるようにします。同じことでも色々な言い方があることがわかるよ。

Q:話し言葉で書きがちです。書き言葉に直すにはどうしたらよいですか？

「だ、である」調で文章を書く訓練をしましょう。「～だと思う」といったあいまいな言い方を避けることも話し言葉から書き言葉に直す訓練になります。

Q:作文を早く書けるようになる方法を教えてください。

早く書くには、たくさん書くこと。だんだんとスピードがあがります。

Q:初め、中、終わりの上手な区切り方について教えてください。

原稿用紙の上に「このあたりまで序盤、ここが中盤、最後はこのくらいの分量で」と鉛筆で目印をつけておきましょう。メリハリの効いた文章が書けます。

Q:上手に指定の字数にまとめるコツを教えてください。

「今日の記事」「今日は何を学んだか」「この本のおもしろかったところ」、なんでもいいので原稿用紙2行分(40字)にまとめるくせをつけましょう。同じ分量でなんでも書けるようになると、長さが変わっても簡潔で要領を得た文章が書けるようになります。

Q:説明や感想が短文で終わってしまうため、1000字も書けません。

「おもしろかった」「おいしかった」などの感想で終わっていませんか？なぜおいしかったのか、どこがおもしろかったのかを詳しく書くようにすると思いの伝わる文章になります。

Q:読書感想文で書こうと思っている1冊の文庫本を読んだとき、言葉では表せないぐらいに感動し、泣きました。そのようなとき、どうやって原稿にまとめればいいですか？また、ミステリー小説で読書感想文を書く場合、どのようにすれば共感してもらえるような文章を書くことができますか？感動した文章ほど、冷静に分析する必要があります。なぜ泣いたのか。自分の考え方や常識をどのようにくつがえされたのか。ひとつひとつ冷静に考えること。「おもしろかった！！！！！」といくら叫んでも分析がなければおもしろさは伝わりません。

Q:読書感想文において、思わず読みたくなる書き出しを考えるコツはありますか？

明確なターゲット（読者）にむけて書くことです。

Q:読書感想文を書いていく中でどんなことを注意しながら書くと良いですか？

- 1 あらすじばかりを書かないこと
- 2 自分の考えや体験をまじえて書くこと
- 3 読む前と読んだあとに自分がどう変わったかを書くこと

■読むことについて

Q:恋愛小説以外の夏目漱石などの有名な本を楽しく読むにはどうしたらいいですか？

夏目漱石だって三角関係の恋愛を描いています。有名な本の多くも恋愛を描いています。有名な作家の恋愛小説を読めば、読解力がつきますよ。

Q:言葉を表面的にしか読み取れず、感想文の内容が浅くなってしまいがちなので言葉を深く読み取る方法を知りたいです。

「なぜ？」という言葉をつぶやきながら読むこと。問いを立てながら読むと深まります。

Q:新しいジャンルの本にどうやって手をつけていいのかわかりません。

気楽に、つまらなければすぐにやめてかまいません。

どんどん手をつけていこう。きっといい本にめぐりあえるよ。

Q:推しの本・作者を見つけるきっかけを知りたいです。また、常に推しの文章を読んでフィードバックしてくれる相手として誰がいるのかも知りたいです。

まずは作者を好きになってみてはどうでしょう。「この本好きだな」ではなく「この人好きだな」と思うところから推し本ははじまると思います。

フィードバックしてくれる相手の見つけ方はよくわからないなあ。

Q:先生は今回の講座で本を繰り返し読むことが大切だとおっしゃっていました。

面白くなかったなどのように、あまり良い感想が持てなかった本ももう一度読むといいのでしょうか？ また、どのように読むといいのでしょうか？

まずはおもしろい本を何度も読み返しましょう。文章を真似したくなるくらい呼吸の合う文章。それを繰り返し読むうちに、作者のリズムが自分にぴたりと合うようになります。好きな本を何度も読みましょう。

Q:長い本を読むコツを知りたいです。

私は枕元に、いつも長編小説を置いています。2年かけて一冊読むこともあります。3ヶ月くらい読まないこともあります。コツコツと読む。

それを繰り返すうちに長いものも読めるようになるよ。